

2、
子世とての

~~子世とての
事おぼやかし
子世とての
影を
原子燦
影~~

~~海を
胸を
抱えん~~

~~四尺本ませうめ。~~

今こそ 原燦の 影を 世に 響く たく せり の 影を

訴へ くれねほ ちりません 原燦の 影を 世に 響く たく せり の 影を

知れぬ 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

嘆き 影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

平和の 影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

ちる 影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

あります。

幸い、原燦の 影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

~~影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を~~

方面では 未だ 影を 思ひ 影に 子世とての 影を 世に 響く たく せり の 影を

長谷川 龍馬 首領 合名 有限 会社

[Faint handwritten text, possibly a return address or recipient information]

しむ此のよるは可は到批少人もナカニおまよふまゝのまゝに
たぐ~~難~~其の道の流賢の力も^{取れ}わけるも
~~難~~其の道の流賢の力も^{取れ}わけるも
直轄の協力も仰り
何れも其の力を竭りなく仰ります。

一九五二、五、三〇

原野の詩 痛恨を垂るる

[Faint handwritten text, possibly a signature or additional notes]

[Faint handwritten text, possibly a signature or additional notes]

但し 国子 領 証

領 証

附函

—— 第一アキヤン ——

原簿をどうしようかと悩まされ

下さる

右の要項を印刷して下さる

一九五二・六月一

原簿の簿編委員会

誌

三 十

1. 原簿の取扱い

2. 原簿の取扱い

どうもこの意図は内装紙の上、原簿を
どう扱うかという点に注意を要します。

尚 一、なるべく同封原簿用紙を印刷して下さる

二、原簿の末尾に

三、長短自由、一人何冊でもかまいません

四、選定は簿編委員会に委ねて下さい

五、六月二十日（印刷出版予定）

六、送付先

此方の署名は入まして参りましたが皆おんほ
益に何得勝のこととお世に申上れます。

おこ此のなを同討りごとく青本書店より

厚燦の詩を集める詩集の刊行さよる事となり
此方におとるより編輯費に着手して居ります。

再び戦争の危機が叫ばれる暗い時代の申し

日本では平和憲法の行方さ之案にうれるような

此の頃 原子爆弾の影に對する青年や婦人

子供たちの率直な声と詩をまとめた集め

広く社会に普及させようとはたろふ物なるとして

進んで果さねばならぬ必要を感するにやと思はれ

ます。

つきまとは此の詩集の甲にせり書下の作ると

入小させて頂きたくお願ひいたします。

詩といいましても上午下午は固はす 厚燦の経験や

心に刻まれた様々の嘆きや怒りも自由な立場か

とのまゝ書きなす 厚燦の集りにてなす。